令和８年度
夏休みの
しおり

実り多き夏休みのために

＜夏休み期間＞
町内各小中学校→７月25日(土)～８月23日(日)
弟子屈高等学校→７月25日(土)～８月20日(木)

▶命を大切にしよう。
▶生活のリズムを守ろう。
▶非行を起こさないようにしよう。
▶事故には十分に注意しよう。

- 計画を立てて学習に取り組み、苦手な範囲を復習しましょう。
- 「町メディアルール」を守り、インターネットを通したトラブルには十分気をつけましょう。
- 外出するときには、帰宅時間や行き先を保護者に必ず伝え、帰宅時間（小学校・中学校・高校で異なります）を守りましょう。
- 交通ルールを守りましょう。特に自転車を利用するときは違反行為をしないようにしましょう。
- 立入禁止区域など危険な場所には行かないようにしましょう。
- 地域住民や周りの人に心配や迷惑をかけないよう心がけましょう。
- 小中学生のみでのキャンプ・外泊は禁止です。
- ゲームセンターやカラオケボックスなどの遊技場を利用する際は、学校のルールを守りましょう。
- 夏休み中、もし家の人や学校の先生以外に何か相談したいことがあれば、『子ども相談支援センター』☎０１２０-３８８２-５６（無料）でも専門の職員が24時間いつでもお話を聞いてくれます。

町メディアルール

警察庁「自転車の安全利用啓発ポスター」

町民の皆さんへ

子どもたちが楽しみにしている夏休みがいよいよ始まります。長期の休みでは、解放感から不規則な生活習慣になったり、さまざまな誘惑に乗ってしまったり、不適切な行為に走る恐れがあります。また、インターネットを通したトラブルなども全国各地で多発しています。

子どもたちには、家庭での生活を中心に、楽しく、安全かつ有意義に過ごし、また、地域の一員として自律的に生活し、人と人との絆を強めていってもらいたいと願っています。

町民の皆さんにおかれましては、見守りの輪を広げ、時には叱咤激励していただけるとありがたく存じます。地域の子どもたちに関心を持っていただき、ご協力いただきますようよろしくお願いします。

町生徒指導連絡協議会・町教育委員会

町・弟子屈防犯協会・川湯防犯協会・町少年補導員連絡協議会
弟子屈警察署☎４８２-２１１０・川湯駐在所☎４８３-２１５１

弟子屈小学校☎482-2044	川湯小学校☎483-2041	和琴小学校☎484-2061	美留和小学校☎482-1097
弟子屈中学校☎482-2071	川湯中学校☎483-2337	弟子屈高校☎482-2237	町教育委員会☎482-2945

（広告）

№26

弟子屈町生徒指導連絡協議会便り

令和８年７月１日

今の時代だからこそ『ならぬものは　ならぬ』の教え

本町にお世話になり４年目を迎えました。今年度も町生徒指導連絡協議会の会長を務めます弟子屈中学校長の小林一博です。どうぞよろしくお願いいたします。

町民の皆さまには、平素から本町の児童・生徒の健全育成のためにお力添えをいただいていることに加え、本会の活動に対しましても格別なご理解とご協力をいただいておりますことに、この場をお借りして感謝申し上げます。

学校現場では、世の中の生成ＡＩの急速な進化・発展に伴い、生成ＡＩの正しい活用に関する教育のあり方が喫緊の課題となりつつあります。ＳＮＳや生成ＡＩの普及は、社会生活にプラス面の変化を与えただけではなく、提供される情報などに安易に流されてしまうような状況などが見受けられ、利用する側への人間教育が不十分であることが伺えます。

近頃、高校生などの若者がＳＮＳを通じて、いわゆる「闇バイト」に関わり、取り返しのつかない犯罪に手を染める犯罪事案が報道されています。改めて、幼少年からの教育の重要性を感じざるを得ません。

特にスマホをはじめとしたＳＮＳの普及と並行した利用する側の人間性を育成する家庭教育、学校教育、地域教育の必要性です。自身の発言などが狭い範囲に留まる時代であれば、言葉による失敗もまだ幼く未熟であるが理由から、指導や反省で済んでいたこともあったでしょう。

しかしながら、今は、ＳＮＳなどで発信した内容は、全世界の不特定多数に瞬時に共有されることとなり、一度発信した言葉や画像は、削除および回収は不可能であり、未成年であっても保護者とともに重い責任が求められる事態にもなり得るのです。

学校現場では、警察などの関係機関と連携し、トラブル防止に向けた「ネットモラル教室」を保護者および児童・生徒対象に積極的に開催し、家庭を含めた啓発と児童・生徒への継続した粘り強い働きかけを重視しています。生徒対象のモラル教室では、警察から生徒に「親や大人に見せられない内容の文章や画像などは、ＳＮＳ上にあげるな」と、一つの指針を示していただいております。保護者に対しては、「ネットの危険から子どもを守るのは、保護者の責任」であると啓発しています。

今後、家庭教育、地域教育、学校教育などにおいて育成していくべき人間力は、「自律・自立した考える人間」ではないでしょうか。その前提として、「ならぬものは　ならぬ」という判断基準を学校教育のみならず、まずは家庭と地域とともに育む必要があります。

その実現のためには、家庭と学校の二柱だけでなく、もう一柱である地域と共に育成する重要性が欠かせません。今年度も共に協力し、知恵を出し合い、取り組んでいきたいと考えております。本協議会へのご協力をよろしくお願いいたします。

弟子屈町生徒指導連絡協議会
会長　小林　一博
（弟子屈中学校長）

町内団体の取り組みを紹介
～川湯中学校～

川湯中学校では、「賢く」、「優しく」、「逞しく」の三点を目指し、「新しい時代を拓き、よりよき社会を共につくる人になろう」を校訓として、日々の授業や学校行事、生徒会活動に取り組んでいます。生徒一人一人がさまざまな学習活動や集団活動を通して、自ら考え、仲間と協力しながら充実した学校生活を送っています。

本校の生徒会活動は、生徒会本部・生活保健専門委員会・文化広報専門委員会の三つの組織を中心に活動しています。生徒会本部では、生徒同士の交流を深める「ＳＫＣ運動」を企画し、学年を越えた関わりを大切にしています。生活保健専門委員会では、「生徒の運動不足解消」を目標にした「ＳＵＫ運動」を実施し、昼休みに全校生徒で身体を動かす機会をつくっています。また、文化広報専門委員会では、昼の放送でゲスト放送やリクエスト曲募集などを行い、生徒が楽しめる学校づくりに努めています。どの活動も、生徒自身が主体的に考え、工夫しながら、よりよい学校を目指して取り組んでいることが特徴です。

よりよい学校づくりを目指す生徒会本部

文化広報専門委員会の活動の様子

ＳＵＫ運動として行っているバレーボール

地域の方の協力で
ブラインドウォークを体験

さらに、本校では川湯地域の特色を生かした学習活動にも力を入れています。昨年度は、地域の方々の協力のもと、川湯温泉街の施設を活用した車椅子体験・ブラインドウォーク・高齢者体験を実施しました。実際の地域の中で学ぶことで、生徒は相手の立場を考える心や、地域社会とのつながりの大切さを実感することができました。こうした貴重な学びは、地域の皆さまの支えがあってこそ実現できるものです。

これからも学校と地域とのつながりを大切にしながら、笑顔あふれる学校づくりを進めるとともに、よりよい社会を共につくることのできる生徒の育成を目指して取り組んでいきます。

問い合わせ先／町生徒指導連絡協議会事務局（弟子屈中学校）☎４８２-２０７１